

平成 27 年 8 月 5 日

各 位

会 社 名 アキュセラ・インク (Acucela Inc.)  
代 表 者 名 会長、社長兼最高経営責任者 窪田 良  
(コード番号：4589 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 アキュセラ・インク (Acucela Inc.)  
日本事務所 ディレクター 須賀川 朋美  
(TEL：03-5789-5872 (代表))  
代 理 人 ベーカー&マッケンジー法律事務所 (外国法共同事業)  
弁護士 高橋 謙 (TEL：03-6271-9900)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年3月26日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

2015 年 12 月期の業績予想の修正 (2015 年 1 月 1 日～2015 年 12 月 31 日)

(単位：%および1株当たり金額を除き、千円ドル (千円))

	提携からの収益		営業損失		税引前当期純損失	
	(最低)	(最高)	(最低)	(最高)	(最低)	(最高)
前回発表予想 (A)	33,200 (4,065,340)	35,700 (4,371,465)	(12,000) ((1,469,400))	(9,575) ((1,172,459))	(11,575) ((1,417,359))	(9,225) ((1,129,601))
今回発表予想 (B)	23,000 (2,816,350)	25,500 (3,122,475)	(24,377) ((2,984,964))	(21,952) ((2,688,022))	(23,952) ((2,932,922))	(21,602) ((2,645,165))
増減額 (B-A)	(10,200) ((1,248,990))	(10,200) ((1,248,990))	(12,377) ((1,515,564))	(12,377) ((1,515,564))	(12,377) ((1,515,564))	(12,377) ((1,515,564))
増減率 (%)	(31)%	(29)%	—	—	—	—

	当期純損失		1株当たり当期純損失	
	(最低)	(最高)	(最低) <sup>ω</sup>	(最高) <sup>ω</sup>
前回発表予想 (A)	(11,650) ((1,426,543))	(9,350) ((1,144,908))	(0.32) ((39))	(0.26) ((32))
今回発表予想 (B)	(24,027) ((2,942,106))	(21,727) ((2,660,471))	(0.66) ((81))	(0.60) ((73))
増減額 (B-A)	(12,377) ((1,515,564))	(12,377) ((1,515,564))	(0.34) ((42))	(0.34) ((42))
増減率 (%)	—	—	—	—

(1) 前回発表の2015年12月期の1株当たり当期純損失予想では、予想される加重平均株式数である35,834,467株を用いて計算したのに対し、今回発表予想では、36,480,959株を用いました。加重平均株式数の増加は、その期間に行われたストックオプションおよび権利が確定した制限付株式によるものです。

(2) 当社の業績予想は米ドルで行っております。2015年12月期の業績予想について、下段の括弧内に表示されている金額(千円、ただし1株当たり金額に関しては、円)は、便宜上、2015年6月30日現在の株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信直物売買相場の仲値に基づき1米ドル=122.45円で換算された金額であります。

(3) 上記の「最低」における括弧内の数値は、提携からの収益、営業損失、税引前当期純損失および当期純損失の予想値のレンジの最低値を示しており、「最高」における括弧内の数値は、提携からの収益、営業損失、税引前当期純損失および当期純損失の予想値のレンジの最高値を示しております。

## 修正の理由

**提携からの収益** 提携からの収益は、共同研究活動の過程において発生する費用を提携パートナーが当社に払戻すものです。収益予想の修正は、かかる費用が予想値を下回ったことによるものです。

**営業損失** 営業損失における前回発表予想数値と今回発表予想数値との差異12.4百万米ドル(1,515.6百万円)の主な要因は、2015年5月1日の臨時株主総会および関連する経営陣の異動に伴う費用に関連するものです。かかる臨時株主総会および関連する経営陣の異動に伴う費用には、弁護士費用およびコンサルティング費用、退職金支払いならびに新規採用従業員および既存の従業員に対する残留手当が含まれます。その他の要因として、提携パートナーからの払戻しのない社内研究に関わる人員の増加に伴う費用に関連するものが含まれます。

**税引前当期純損失** 今回発表予想数値が前回発表予想数値を12.4百万米ドル(1,515.6百万円)下回った主な要因は、2015年5月1日の臨時株主総会および関連する経営陣の異動に伴う費用に関連するものです。その他の要因として、提携パートナーからの払戻しのない社内研究に関わる人員の増加に伴う費用に関連するものが含まれます。

**当期純損失および1株当たり当期純損失** 主に2015年5月1日の臨時株主総会および関連する経営陣の異動に伴う費用ならびにその他提携パートナーからの払戻しのない社内研究に関わる人員の増加に伴う費用により、今回発表予想数値は前回発表予想数値を12.4百万米ドル(1,515.6百万円)下回りました。1株当たり当期純損失は、前回発表予測数値を0.34米ドル(42円)下回りました。

(注) 実際の業績は予想として記載された値から著しくまたは不利に相違する場合があります。当社の実際の業績を著しく相違させる可能性のある要因には、当社の提携パートナーが当社の製品候補の共同開発を終了するリスク、当社の製品候補が期待された有効性を示さず、規制当局の承認を得ることができないまたは商品化されないリスク、臨床試験に遅れが生じるリスク、競争の激しい眼科医薬品市場における新たな展開により当社の臨床試験計画に変更が生じるもしくは当社の製品候補の潜在的利益が限定されるリスク、当社が窪田良氏を含む主要な経営陣および科学者に依存していることそしてそれらの人材を維持し意欲を引き出すことができないリスク、ならびに治療薬の安全性および有効性を証明する探索および開発過程に内在するその他のリスクおよび不確実性が含まれますが、これらに限定されません。当社は本リリース後の新たな情報、事象および状況または予想された事象の発生を反映するために、本資料の将来に関する記述を更新する義務を負うものではありません。リスクの詳細およびその他のリスク要因については、当社による米国証券取引委員会（以下「SEC」といいます。）への提出書類をご参照ください。SECへの提出書類は当社のウェブサイト（<http://ir.acucela.com/>）およびSECのウェブサイト（<http://www.sec.gov>）より入手可能です。

以上